

## 不妊分科会議事録

不妊分科会長名：飯塚理八

日時：昭和55年10月13日（月） 12:00～14:30

場所：ルーテル市ヶ谷センター 第一会議室

出席者：

鈴木班長，飯塚分科会長，稲葉厚生技官，池内厚生技官，和久班員，大野班員代，森研究協力者，古橋・牧野經理担当者，石田，高井，小林（俊），森定，鈴木（俊），岩下，中山他

合計 29 名

議事

第1回の不妊分科会は上記日程で開催され，鈴木班長より報告書を予定通り発刊すること。体内・体外の新しい不妊症治療の検討を期待する旨の挨拶がなされた。

続いて厚生省・稲葉技官より池内技官が紹介され，生殖生理の基礎研究，臨床不妊治療の検討が心身障害発生产予防に役立ち，妊婦指導に反映させたい旨の挨拶があった。

引き続き飯塚不妊分科会長より班員，研究協力者の紹介があり，三月末までに報告書の提出が再確認された。

この後，和久班員，大野班員代，飯塚班員，森研究協力者の順に研究計画，抱負が述べられた。

この会はこの後，古橋（東北大）經理担当事務責任者から班の構成，決算書，報告書などについての説明が行われ定刻に散会した。

## 第 2 回 不 妊 分 科 会

不妊分科会々長 飯塚理八

日時：昭和56年2月27日（金） 14:00～18:00

場所：東京駅八重洲口 ルビーホール

出席者：

鈴木班長，飯塚不妊分科会々長，厚生省長谷川技官，和久班員，星研究協力者，大野班員代，楠田研究協力者，森研究協力者，東北大より佐藤，星，星合，斎藤，長池，桃野，九大より津田，大久保，京大より高井，帝京大より石田，慶大より小林，牧野，森定，中山，鈴木，有沢他 30 名

議事

第2回の不妊分科会は上記の日時にルビーホールにて開催された。

各研究者の報告に先立ち，飯塚不妊分科会々長から挨拶があり，まず慶大より「Diffusion Chamber」を用いた家兎受精卵の腹腔 養の研究」の報告があった。

続いて東北大より「in vitro fertilization におけるmedium中のenergy sourceの影響について」報告，さらに帝京大より「精子細胞でのATP産生と加温の効果」の研究報告があった。

小休止のあと，東歯大より「人工授精による妊娠および出生児の研究」，九大より「ゴナドトロピン誘発排

卵周期のホルモン動態と卵巣の形態」「不妊治療によって出生した児に関する調査」の報告があり討議が行われた。

引き続いて京大より「ヒト透明帯の抗原構成」, 「抗ヒト透明帯自己抗帯」の二題の発表があった。

このあと鈴木班長, 厚生省長谷川技官より挨拶があり, 年度末の事務処理の打ち合わせのあと, 定刻に散会した。